

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

耳の下（耳下腺）やあごの下（顎下腺）が腫れて痛くなります。両方腫れることが多いですが、片側だけ腫れることもあります。腫れは1～3日でピークになり、1週間ほどでひきます。熱は3～4日で落ち着きます。

＜家庭で気をつけること＞

すっぱいものや、よくかまなくてはいけない食べ物は避けましょう。痛みが強いときは、かまずに飲み込めるポタージュスープ、プリン、ゼリー、おかゆなどを食べましょう。

＜保育所・学校＞

腫れがでたあと **5日を経過し、全身の状態が良くなるまで出席停止**です。

とびひ（伝染性膿痂疹）

夏場になりやすく、すり傷や虫さされでかいたあとの、ひっかき傷に細菌が入りこんで水ぶくれができたものです。自宅のケアだけでは治りにくいので早めに受診しましょう。症状がおさまっても細菌はすぐには減らないので、抗菌薬は必ず最後までのみきってください。

＜家庭で気をつけること＞

お風呂：浴槽には入らず、シャワーで石けんを使って体のよごれを洗い流してから軟膏をぬってください。菌に触れるとうつりますので、ガーゼで覆うようにしましょう。兄弟にもうつる可能性があるので、タオルなどは別々にしましょう。

手洗い：爪は短く切り、毎日何度も石けんで手を洗いましょう。

プール：とびひが乾いてかたまるまでは入らないようにしましょう。

＜保育所・学校＞

登園、登校の制限はありませんが、ひどい場合は、保育所や学校に相談してください。



編集後記

院長 永井俊一

限られた紙面にすべての病気を取り上げることはできませんでしたが、よくみる病気を中心にまとめてみました。赤ちゃんが初めて熱を出したり、発疹が出たりするとすごく不安になりますが、そのような時に少しでもお役に立てれば幸いです。私の専門は循環器内科ですが、開業してから小児科学会にも入会し、こどもの病気も勉強しています。診断や治療の難しい病気もありますが、そういう場合は県立新庄病院の小児科の先生方と連携をとって、適切に対処していきたいと思っています。